

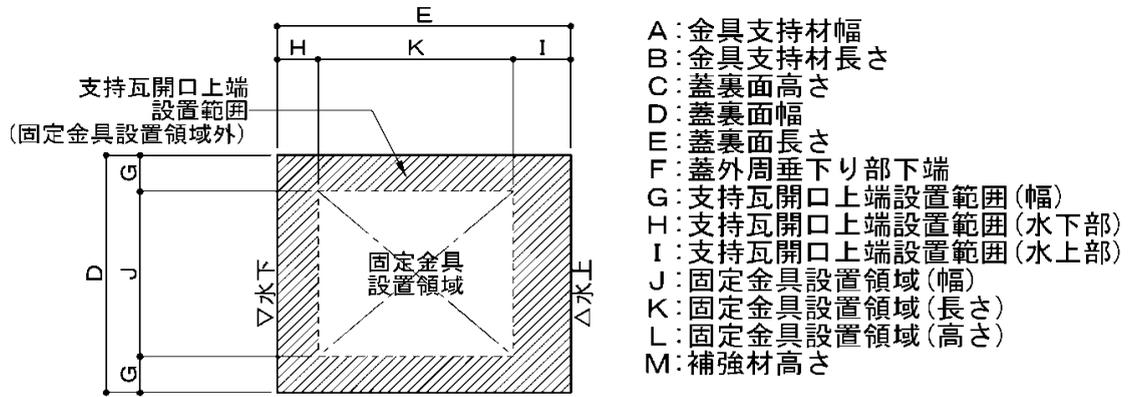
1. 対象製品

太陽光発電架台用PV支持材(F形棧がわら)

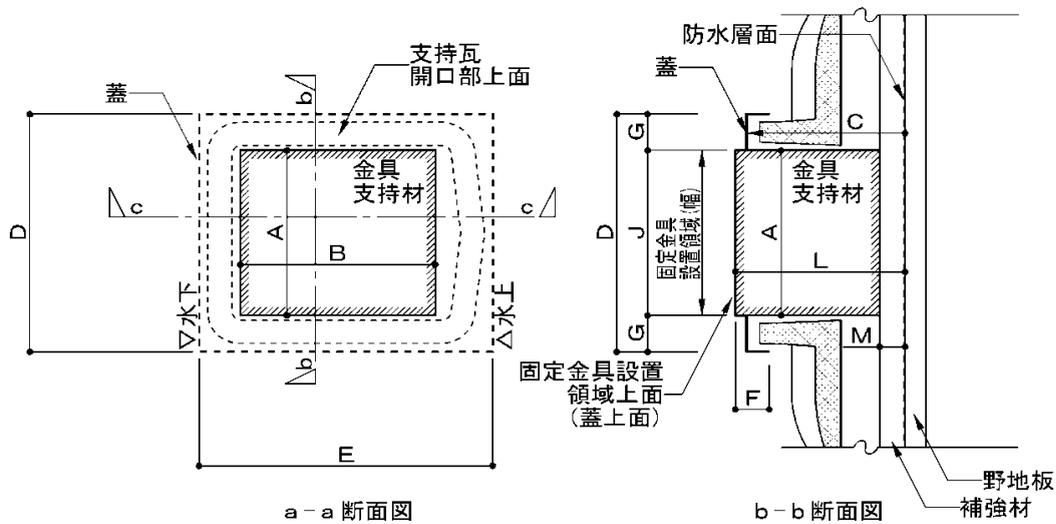
略称: CJK PV支持材

2. 標準(共通)化の部位

住宅の瓦葺き屋根に太陽光発電モジュール設置のために使用する”太陽光発電架台用支持瓦(F形棧がわら)登録コード130606021”に対応した、”金具支持材”の標準(共通)化部位を、下記図1に示す。

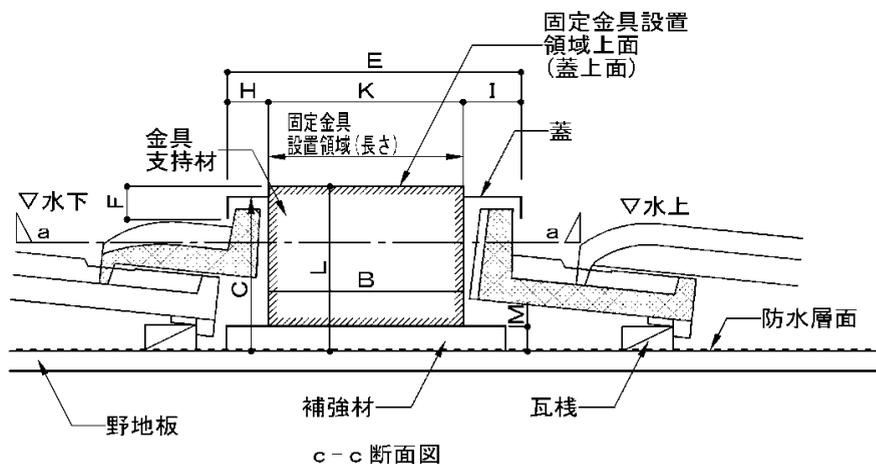


蓋裏面平面図



a-a断面図

b-b断面図



c-c断面図

図1-標準(共通)化の部位図

3. 寸法・形状

前項図中の寸法、形状については、表1に規定する数値とする。

表1－各部位の標準寸法

単位：mm

項目	寸法	備考
A：金具支持材幅	≤ 100	金具支持材最大幅
B：金具支持材長さ	≤ 115	金具支持材最大長さ
C：蓋裏面高さ	≥ 86	防水層上面から蓋裏面までの距離
D：蓋裏面幅	≥ 136	蓋裏面最小幅
E：蓋裏面長さ	≥ 165	蓋裏面最小長さ
F：蓋外周垂下り部下端	≤ 20	固定金具設置領域上面からの下り寸法
G：支持瓦開口上端設置範囲(幅)	≥ 18	
H：支持瓦開口上端設置範囲(水下部)	≥ 18	
I：支持瓦開口上端設置範囲(水上部)	≥ 32	
J：固定金具設置領域(幅)	≥ 100	設置領域最小幅
K：固定金具設置領域(長さ)	≥ 115	設置領域最小長さ
L：固定金具設置領域(高さ)	$95 \leq L \leq 100$	固定金具設置領域上面のみ
M：補強材高さ	≤ 15	

4. 表示方法

印刷物・電子媒体に、当該商品が長期使用対応部材であることを表示する。

または、“CjK”マークを表示する。

製品への表示は任意とし、表示を行う場合は、梱包又は製品裏面に

長期使用対応部材であることを表示する。または、“CjK”マークを表示する。

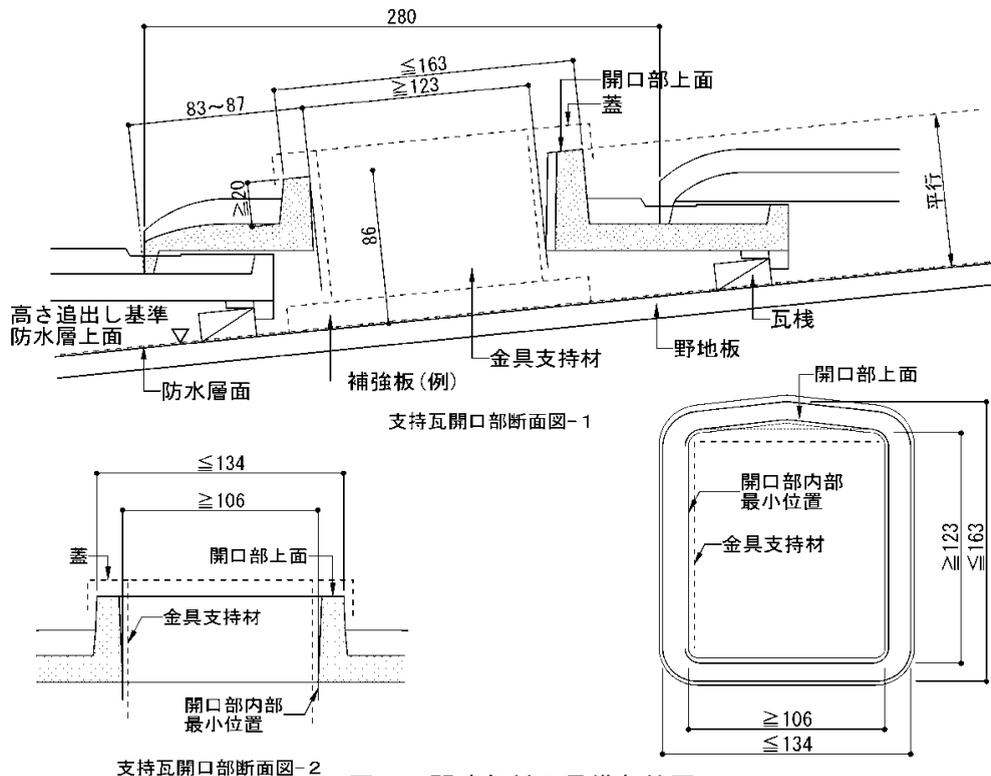
5. 特記事項

5.1 固定金具設置領域(蓋上面)に関するその他の規定

- 固定金具設置領域外の上面高さは、太陽光発電モジュールを設置するために用いる固定金具等との干渉を避けるため、固定金具設置領域の高さ(蓋上面高さ)95mm~100mmとする。

5.2 関連部材の具備すべき条件

- 本基準書で規定している金具取付材の各寸法は、関連部材の“太陽光発電架台用支持瓦(F形棧がわら)登録コード130606021”の基準寸法を前提として設定を行っている。



6. 解説

本基準書は”太陽光発電設置用支持瓦（F形棧がわら）登録コード130606021”と組み合わせて用いる金具支持材の寸法形状の標準化を行った。

6.1 太陽光発電モジュール固定金具を設置すべき平面領域と高さを標準化するために、J、K、Lの寸法を規定した。

- 固定金具設置領域幅と長さ（J： $\geq 100\text{mm}$ 、K： $\geq 115\text{mm}$ ）
 - 太陽光発電モジュールを設置するために用いる固定金具が、固定金具設置領域100mm×115mmの範囲内に固定できるように規定した。
- 固定金具設置領域の高さ（蓋上面高さ）（L：95mm～100mm）
 - 太陽光発電モジュールを設置するために用いる固定金具が、防水層上面より高さ95mm～100mmの範囲内に設置できるように規定した。
- 固定金具設置領域外の高さ
 - 固定金具設置領域外の上面高さが、固定金具設置領域の高さ（蓋上面高さ）よりも高い場合、太陽光発電モジュールを設置するために用いる固定金具等と干渉する恐れがあるため、高さを規定した。

6.2 “金具支持材”寸法のA、Bは、金具支持材が支持瓦開口部と干渉しないために、干渉する可能性のある、防水層上面から支持瓦開口上面高さまでの範囲について規定した。

- 金具支持材の形状
 - 金具支持材の寸法は、幅100mm(A)、長さ115mm(B)以下とし、防水層上面から支持瓦開口上面高さ(86mm)までの範囲で、支持瓦の開口部に干渉しない範囲とする。
 - 上記寸法内に納まっていれば、形状、材質は問わない。

6.3 蓋の領域の規定

- 蓋裏面の幅と長さ（D： $\geq 136\text{mm}$ 、E： $\geq 165\text{mm}$ ）
 - 固定金具設置領域と、支持瓦開口部を覆い隠すことができるように規定した。
 - 蓋上面の全幅、全長の規定は行わない。
 - 形状、材質は問わない。

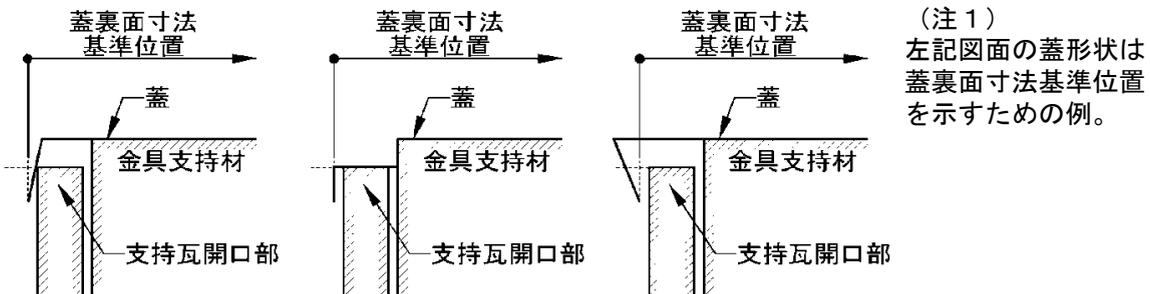


図3－蓋裏面寸法基準位置図

- 蓋裏面の高さ（C： $\geq 86\text{mm}$ ）
 - 蓋裏面高さは、蓋裏面が支持瓦開口部上端と干渉しないように、一定以上の高さとなるよう規定した。
- 蓋の垂下り部下端の高さ（F： $\leq 20\text{mm}$ ）
 - 蓋の外周垂下り寸法は、支持瓦上面との干渉を避けるため、固定金具設置領域の高さ（蓋上面高さ）からの下がり寸法の上限を設けた。
- 蓋裏面と支持瓦開口部上端との水密性を担保するために、シーリング材等で止水することを前提としている。

6.4 補強材の規定

補強材は、金具支持材（蓋を含む場合もある）とセットで供給されることを前提とした寸法規定を行った。

- 補強材の設置位置
 - 補強材を設置する場合は、水下部の瓦や水上部の瓦棧に干渉しないようにすること。
 - 高さは、支持瓦の裏面に干渉しないように、15mm(M)以下の範囲とした。
 - 形状、材質は問わない。

6.5 高さ追出し基準

- 各部位の高さ方向寸法は、野地板面に施工する防水層上面を基準とした。

6.6 用語について

- ・金具支持材 ⇒ 太陽光発電モジュール設置に必要となる固定金具を、支持する部材
蓋、補強材と一体の場合もある
- ・蓋 ⇒ 固定金具設置領域を備え、支持瓦開口部を覆い隠すための部材
- ・補強材 ⇒ 金具支持材を取付ける野地板を補強する部材
- ・PV ⇒ Photovoltaic（太陽光発電）の略

7. 共通事項

7.1 寸法について

- ・寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

7.2 交換について

- ・交換については、専門知識を有する者が行なうことを推奨する。
- ※専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。

8. 改訂履歴

8.1 2016年4月28日改訂

- ・対象製品名称、略称見直しによる改訂
- ・7.1寸法について記載内容改訂